

安全データシート

作成日: 2011年06月08日

改訂日: 2022年01月06日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: MULTIWAX
 [グレード: MULTIWAX W-445、MULTIWAX ML-445、MULTIWAX 180-M、MULTIWAX 180-W、MULTIWAX W-835、MULTIWAX W-445 (スコート)]

製品コード:

化学物質等の名称: マイクロクリスタリンワックス

会社名: 島貿易株式会社

住所: 東京都中央区銀座二丁目12番14号

担当部署: 品質保証室

電話番号: 03-3542-3111

FAX番号: 03-3542-3345

緊急時の電話番号: 06-6208-0223 (土日祝を除く 9:00~17:00)

メールアドレス: shima-msds@shima-tra.co.jp

製造会社名: Sonneborn, LLC

推奨用途: 医薬品添加物、化粧品、ガムベース、光沢剤、電気絶縁材料、ホットメルト等

使用上の制限: 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 自然発火性固体 区分に該当しない

健康に対する有害性: 急性毒性 (経口) 区分に該当しない
 急性毒性 (経皮) 区分に該当しない
 皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分に該当しない
 皮膚感作性 区分に該当しない

環境に対する有害性: 水生環境有害性 短期(急性) 区分に該当しない
 ※「対象外」「分類できない」の項目は記載省略

ラベル要素

絵表示又はシンボル: 該当しない

注意喚起語: 該当しない

危険有害性情報: 該当しない

注意書き:
 【安全対策】 該当しない
 【応急措置】 該当しない
 【保管】 該当しない
 【廃棄】 該当しない

その他の危険有害性情報: 情報なし

3. 組成、成分情報

単一成分・混合物の区別: 単一成分

化学物質

化学名又は一般名	分子式	CAS番号	官報公示整理番号		濃度又は濃度範囲
			化審法	安衛法	
マイクロクリスタリンワックス	C_nH_{2n+2}	63231-60-7	8-414	既存	100%

(注) 本製品には、固形パラフィンに該当する成分(炭素数が20~32の飽和炭化水素)がわずかに含まれていると考えられる。

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
予想される急性症状及び 遅発性症状:	熔融状態の製品は火傷を引き起こす。

5. 火災時の措置

消火剤:	粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、砂。
使ってはならない消火剤:	棒状放水を用いてはならない。
特定の危険有害性:	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)、煙霧および刺激性の蒸気を発生するおそれがある。
特定の消火方法:	消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火をおこなう者の保護:	関係者以外は、安全な場所に退去させる。 消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。 必要に応じて自給式呼吸装置および完全保護服を着用すること。
その他の予防措置:	情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。 関係者以外の立入りを禁止する。 屋内の場合は立入る前から処理が終わるまで十分に換気を行う。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和、封じ込め及び浄 化の方法・機材:	漏出物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策:	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 関係先に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
局所排気・全体換気:	取り扱いには換気のよい場所で行い、できるだけ局所排気または全体換気装置を使用する。
注意事項:	適切な保護具を着用しない場合、40℃を超える温度で取り扱わないこと。
安全取扱い注意事項:	取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
技術的対策:	消防法の規定に従うこと。
保管条件:	直射日光を避け、乾燥した換気の良い冷暗所にて保管する。
混触危険物質:	強酸化剤
容器包装材料:	密閉式の破損しないものに入れること。 他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度(ばく露限界値または
生物学的ばく露指標)

日本産業衛生学会: 設定されていない。

ACGIH: TLV-TWA 2 mg/m³ (パラフィンワックスヒュームとして)

設備対策: 作業場にはできるだけ全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具: 有機蒸気フィルター付き呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具: ネオプレン製、ニトリル製またはポリビニルアルコール (PVA)製の
耐薬品性保護手袋を着用すること。

眼の保護具: 化学スプラッシュゴーグルおよびフルフェイスシールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 保護服(長袖作業衣等)を着用すること。

衛生対策: 取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

固体

色:

白色～淡黄色

臭い:

無臭～微かに石油様臭

融点/凝固点:

54-102 °C

沸点又は初留点及び沸騰範
囲:

> 230 °C

可燃性:

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/

データなし

可燃限界:

引火点:

> 93.4 °C (ペンスキーマルテンス密閉法)

自然発火点:

データなし

分解温度:

データなし

pH:

データなし

動粘性率:

13-18 cSt (100°C)

粘性率:

データなし

溶解度:

水: 不溶

有機溶媒: データなし

n-オクタノール/水分分配係数

> 6

(log Pow値):

蒸気圧:

< 0.1 kPa (20°C)

密度:

> 0.8 g/cm³ (100°C)

相対密度:

< 1

相対ガス密度:

該当しない

粒子特性:

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:

通常取り扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性:

通常取り扱い条件において危険有害反応の可能性はない。

避けるべき条件:

直射日光、高熱、火炎・火花等の着火源を避ける。

混触危険物質:

強酸化剤

危険有害な分解生成物:

燃焼により炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)、煙霧および刺激性
の蒸気を発生するおそれがある。

11.有害性情報:

本製品中に含まれる固形パラフィンに該当する成分(炭素数が20~32の飽和炭化水素)は、マイクロクリスタリンワックスの本質ではあるが不純物扱いとし、NITEの固形パラフィン(CAS番号 8002-74-2)の有害性情報⁽²⁾に基づき、1 %以上、5 %未満含有するものとして分類を行った。

急性毒性

経口:

(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)ラットのLD₅₀値>5,000 mg/kg(IUCLID(2000))、>3,750 mg/kg(IUCLID(2000))に基づき区分に該当しないとした。⁽²⁾

経皮:

(製品)ラットのLD₅₀値>5,000 mg/kg⁽¹⁾
GHS分類(製品):製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)ウサギのLD₅₀値>3,600 mg/kg(IUCLID2000)に基づき、JIS分類の区分に該当しない(国連分類基準の区分5または区分に該当しない)とした。⁽²⁾

吸入:

(製品)ウサギのLD₅₀値>2,000 mg/kg⁽¹⁾
GHS分類(製品):製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)データなし⁽²⁾
(製品)データなし⁽¹⁾

皮膚腐食性/刺激性:

GHS分類(製品):データがないため「分類できない」とする。
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)ウサギを用いたDraize法による2試験において、24時間適用で「not irritating」と「slightly irritating」の結果があり(何れもIUCLID(2000))、また20人のボランティアでの皮膚刺激性試験の結果、1人にわずかな紅斑が認められた以外、他の19人は刺激性を示さなかったとの報告がある(IUCLID(2000))。以上の結果に基づき、区分に該当しないとした。⁽²⁾

眼に対する重篤な損傷/
眼刺激性:

(製品)皮膚刺激性なし、溶融状態の製品は火傷を引き起こす。⁽¹⁾
GHS分類(製品):製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)ウサギを用いたDraize法類似試験において、軽度(slightly)の刺激性(IUCLID(2000))およびウサギの標準Draize試験において軽度(mild)の記述(RTECS(2008);Journal of the American College of Toxicology. 3(3), 43, 1984)に基づき、区分2Bとした。⁽²⁾
(製品)眼刺激性なし、溶融状態の製品は火傷を引き起こす。⁽¹⁾
GHS分類:区分2Bの成分(固形パラフィン)の組成が限界値未満であり、製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。

呼吸器感作性又は
皮膚感作性:

呼吸器感作性:
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)データなし⁽²⁾
(製品)データなし⁽¹⁾
GHS分類(製品):データがないため「分類できない」とする。
皮膚感作性:
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)データなし⁽²⁾
(製品)モルモットの経皮ばく露で皮膚感作性物質ではなく皮膚感作性はない。⁽¹⁾

生殖細胞変異原性:

GHS分類(製品):製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。
(マイクロクリスタリンワックス)データなし
(固形パラフィン)In vivo 試験のデータがなく分類できないとした。なお、Ames試験(in vitro 変異原性試験)で陰性の結果がある(農業安全情報(1992))。⁽²⁾
(製品)In vitroで生殖細胞変異原性はないと考えられる。⁽¹⁾

発がん性:	GHS分類 (製品): 十分なデータがないため「分類できない」とする。 (マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)ラットに2年間経口投与した試験で、腫瘍の発生率是对照群と比較して差は認められなかったとの報告があり、長期毒性試験における、実験動物に対するパラフィン是非発がん性であるとの記述がある(JECFA(1993))。またウサギ・マウスの2年間経皮試験では、発がん性は認められていない(EHC20(1982))との報告もある。しかし、経口投与による試験では動物1種のための試験データしかなく、区分に該当しないとするには疑義が残るため分類できないとした。⁽²⁾ (製品)本製品組成中 0.1% を超える物質で、IARC、NTPおよびOSHA の発がん物質リストに記載されているものはない。 本製品は発がん性があるとは考えられない。⁽¹⁾ GHS分類 (製品): 十分なデータがないため「分類できない」とする。
生殖毒性:	(マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)データなし⁽²⁾ (製品)生殖器系への毒性および催奇形性はないと考えられる。⁽¹⁾ GHS分類 (製品): 十分なデータがないため「分類できない」とする。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露):	(マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度(mild)の刺激性(PATY5th(2001))に基づき、区分3(気道刺激性)とした。⁽²⁾ (製品)単回ばく露試験で全身毒性の証拠を示さない。⁽¹⁾ GHS分類 (製品): 区分3(気道刺激性)である成分(固形パラフィン)の組成が限界値未満であるため、また製品の十分なデータがないため「分類できない」とする。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露):	(マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)ラット90日間経口投与試験(0, 160, 1,600 mg/kg/day)において、赤血球と血小板の減少、肝細胞の空包化、肉芽腫の発達、壊死、腸間膜リンパ節における肉芽腫の発現、細胞の過形成、頸部リンパ節における肉芽腫の発現、心臓僧坊帽弁の基部におけるリンパ球様細胞浸透の増加(JECFA 1056(2003))などの所見が用量依存的に見られたが、区分2のガイダンス値以下で試験が行われていないためデータ不足により分類できない。⁽²⁾ (製品)反復ばく露試験で全身毒性の証拠を示さない。⁽¹⁾ GHS分類 (製品): 十分なデータがないため「分類できない」とする。
誤えん有害性:	(マイクロクリスタリンワックス) データがないため分類できない。 (固形パラフィン)データなし⁽²⁾ (製品)誤えん有害性があるとは考えられない。⁽¹⁾ GHS分類 (製品): 十分なデータがないため「分類できない」とする。

12.環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):	(マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)データ不足のため分類できない。⁽²⁾
魚類:	(製品)種不明の96時間LC ₅₀ 値>100 mg/L ⁽¹⁾
甲殻類:	(製品)ミジンコ(Daphnia (water flea))の48時間EC ₅₀ 値>100 mg/L ⁽¹⁾
藻類:	(製品)種不明の72時間EC ₅₀ 値>100 mg/L ⁽¹⁾
GHS分類 短期(急性):	製品のデータに基づき「区分に該当しない」とする。
水生環境有害性 長期(慢性):	(マイクロクリスタリンワックス)データなし (固形パラフィン)データがなく分類できない。⁽²⁾ (製品)データなし
GHS分類 長期(慢性):	データがないため「分類できない」とする。
水生環境有害性 長期(慢性):	データなし
残留性・分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壌中の移動性:	データなし

オゾン層への有害性: データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 残余廃棄物は、関連法規および地方自治体の基準に従って廃棄すること。
廃棄を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。この場合、危険性、有害性を十分告知すること。

汚染容器及び包装: 容器または被包材の廃棄にあたっては、残余廃棄物と同様に廃棄すること。容器または被包材を再利用する場合、洗浄に伴い発生した廃液等は残余廃棄物と同様に廃棄すること。

14.輸送上の注意

国際規制

海上規制情報: 該当しない

航空規制情報: 該当しない

国内規制

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。

海上規制情報: 該当しない

航空規制情報: 該当しない

特別の安全対策: 漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなうこと。

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法: 該当しない

労働安全衛生法: 表示・通知義務対象物質（固形パラフィン）
[固形パラフィンに該当する成分（炭素数が20～32の飽和炭化水素）が1%以上含まれる可能性があることを考慮して該当とした。]

毒物及び劇物取締法: 該当しない

消防法: 非危険物（指定可燃物 可燃性固体類）

水質汚濁防止法: 排水基準：ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）
5 mg/L（許容濃度）

海洋汚染防止法: 有害液体物質（Y類物質）（パラフィンワックス）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16.その他の情報

参考文献: (1)メーカーSDS (2021/07/15)
(2)NITE GHS分類 固形パラフィン（平成21年度）

記載内容については、現時点での資料や情報に基づいて作成されたものであり、記載のデータや評価に関しては情報の完全さ、正確さを保証するものではないことをご了承ください。

すべての化学製品には、未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださいますようお願いいたします。

尚、製品の詳しい説明、又ご不明の点などありましたら、弊社担当者にご連絡ください。